

中国の中秋節に合わせて動物検疫所の検査を強化し、 アフリカ豚熱の侵入防止に努めています

動物検疫所では、アフリカ豚熱の侵入を防ぐため、国際郵便物、旅客の手荷物に含まれる畜産物の検査を強化しています。特に、中国の中秋節（9月19日から21日）に合わせ動物検疫探知犬を最大限活用し、水際検査を強化します。



2020年7月1日に家畜伝染病予防法が改正され、不法に畜産物を輸入した場合、最高300万円の罰金（法人の場合最高5,000万円）又は3年以下の懲役が科せられることとなっています。それにもかかわらず、一部の旅客は不法に肉製品を携帯しています。また、国際郵便でも不法に肉製品が送られてきています。2021年1月から6月の半年間で、旅客の手荷物として6,934件（5,179kg）、国際郵便物として25,120件（44,032kg）が違法に持ち込まれ、廃棄されています。国際郵便では、全国で1日平均137件にのぼります。携帯品で違法に持ち込まれた食肉製品から、これまでにアフリカ豚熱ウイルスの遺伝子が96例見つかり、感染性のあるウイルスも見つかっています。



現在、アフリカ豚熱が発生している国からの旅客の手荷物検査、国際郵便物検査について、警察などの関係機関と協力して違反者への処罰を強化し、アフリカ豚熱侵入予防防止措置を強化しています。なお、2019年7月以降、これまでに9名が逮捕されています。

中国語：http://www.maff.go.jp/aqs/languages/bring_meat_cn.html

英語：<https://www.maff.go.jp/aqs/languages/info.html>